


## 医療現場の現実 No.3

## 医療事故とスイスチーズモデル


## —— なぜ事故は起きるか・どう防ぐか


 **今日のゴール：** 医療事故が「個人のミス」ではなく「システムの失敗」として起きるメカニズムを理解する。スイスチーズモデル（Reason, 1990）を使って事故の構造を分析し、「責任追及」から「原因分析・再発防止」へのパラダイムシフトを論じられるようにする。

 この授業の問い

1. 医療事故はなぜ「うっかりミス」だけでは説明できないのか？
2. スイスチーズモデルとは何か。「穴」とは何を意味するのか？
3. 「個人を責める文化」と「システムを変える文化」では何が違うのか？

 衝撃体験：「悪い医師」がいなくても事故は起きる

 **考えてみよう：** 「2009年、東京の病院でK医師は過労で72時間勤務後に投薬量を間違えた。K医師は悪い医師ですか？」

 **James Reason (1990) の答え：** 「個人は必ずエラーを犯す。問題は、そのエラーが患者に届くまでに何層の防御がなかったか、だ。」  
→ 悪い個人ではなく、**エラーが素通りできてしまったシステム**が問題。

## 採点者の視点

## 採点者はここを見ている —— 医療事故・スイスチーズモデルで合格答案はこういう「構造」をしている

## ① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

**「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」**

医療事故・スイスチーズモデルでは、**多層防護モデルの根拠**が答案の質を大きく左右します。

## ② 医療事故・スイスチーズモデルで採点者が見ているポイント

「スイスチーズモデルで複数の防護層の穴が一致した時に事故が起きる構造」を示した答案が高評価

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答案を出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

## ③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

## 続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所